プロスポーツ 大宮競輪 号外版
PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

今年も主役は譲らぬ平原康

大宮競輪場開設73周年記念「東日本発祥倉茂記念杯」は、1月15日～18日の日程で開催される。今シリーズはグランプリ2021で連係した平原康多、宿口陽一、吉田拓矢のSS班3名が参戦。優勝争いをリードしていく。しかしながら、他にも深谷知広、町田太我など超ド級の自力型がいるので、一筋縄ではいきそうにない。この大会では圧倒的な実績を誇る平原が9V目を飾るのか、それとも阻止する選手がでるのか、興味津々のシリーズだ。

地元の当所記念では圧倒的な存在感を示している平原康多が今年も主役を務める。59、61、62、64、66、68、71、72周年の計8Vという素晴らしい成績を残していて、今年は3連覇を目指す。昨年は落車が続いて調子を落としたが、共同通信社杯では17年2月時もあったが、寛仁親王牌では17年2月準V、寛仁親王牌では17年2月の全日本選抜以来となるG1大会Vをものにすると、グランプリは惜しくも初Vは成らずも関東好連係から準V。後半戦に入り調子を上げてきた。今シリーズは昨年のグランプリでも関東ラインを組んだ宿口陽一、吉田拓矢に加え森田優弥、武藤龍生から有利に戦えるので条件もいい。地元ファンの期待にきっちり応える。昨年は高松宮記念杯でタイトルホルダーの仲間入りを果たした宿口。その後もオールスターでは①①⑦①①着と4勝、10月前橋G3で優勝するなど、持ち味の自力攻撃には一段と磨きがかかった印象だし、番手戦もそつなくこなしている。新SS班として参戦する地元記念なのでいつも以上に気合が入る。吉田拓矢も昨年は競輪祭で初タイトルをゲットした。他のG1でも高松宮記念杯で準V、寛仁親王牌でも決勝に乗っているだけに、地力強化しているのは間違いない。グランプリでは関東勢の先頭で主導権を握ったが、今シリーズは地元勢がそろっている。地元勢との連係はメンバー次第となりそうだ。

Gレースではなかなか優勝には手が届かない深谷知広だが、自転車競技では世界の舞台で大活躍した実績がありスピードは非凡。12月佐世保記念の決勝は、ジャン前から積極的に駆けて5着に沈んだものの、新山響を不発に終わらせ和田健の優勝に大きく貢献した。直線が長い当所で逃げ切るのは至難の業だが、好位からのまくりに持ち込めれば単望める。67周年大会以来となる2V目をゲット成るか。和田真久留が深谷とタッグを組む。最近は決勝での連がらみはないものの、最終バックを取るレースが多く動きは悪くない。

西日本勢ではスケールの大きな先行が売りの町田太我に魅力を感じる。昨年は松山G3を含み5Vを達成していて、着実に力を付けてきた。12月広島記念1①②❷着の走りも力強かったし、ヤンググランプリでは果敢に主導権を握っている。タイミングよく仕掛けてハナに立てれば台風の目と化すことも。中四国スジで阿竹智史が町田と連係か。町田とはオールスターの5日目特選で連係していて、逃げ切った町田に阿竹が好マークしてワンツーを決めている。

寛仁親王牌で2年続けて決勝進出を果たした山田庸平は、その後も力強い走りを披露している。ここのところ連がらみの決まり手は自力がほとんどで、機動力に迫力を増した印象だ。うまく流れに乗れれば怖い。

東日本発祥倉茂記念杯 出場予定選手

※2022年1月4日現在のデータです。

級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87期	121.64
SS	宿口陽一	埼玉	91期	119.00
SS	吉田拓矢	茨城	107期	118.11
S1	神山雄一郎	栃木	61期	103.70
S1	志智俊夫	岐阜	70期	104.90
S1	成清貴之	千葉	73期	101.56
S1	三宅達也	岡山	79期	108.21
S1	濱田浩司	愛媛	81期	100.19
S1	合志正臣	熊本	81期	104.94
S1	庄子信弘	宮城	84期	101.25
S1	勝瀬卓也	神奈川	84期	100.71
S1	西岡正一	和歌山	84期	101.60
S1	稲垣裕之	京都	86期	110.05
S1	村上博幸	京都	86期	110.90
S1	井上昌己	長崎	86期	112.95
S1	成田和也	福島	88期	111.05
S1	渡部幸訓	福島	89期	111.25
S1	橋本強	愛媛	89期	110.32
S1	飯野祐太	福島	90期	110.26
S1	阿竹智史	徳島	90期	110.26
S1	坂本貴史	青森	94期	106.23
S1	藤田勝也	和歌山	94期	100.00
S1	山田庸平	佐賀	94期	114.61
S1	深谷知広	静岡	96期	113.26
S1	武藤龍生	埼玉	98期	111.81
S1	和田真久留	神奈川	99期	111.22
S1	山本伸一	京都	101期	106.48
S1	谷口遼平	三重	103期	110.40
S1	山岸佳太	茨城	107期	107.56
S1	堀内俊介	神奈川	107期	105.29
S1	林大悟	福岡	109期	106.92
S1	瓜生崇智	熊本	109期	104.15
S1	黒沢征治	埼玉	113期	104.20
S1	森田優弥	埼玉	113期	112.12
S1	町田太我	広島	117期	110.17
S2	郡英治	広島	68期	87.06
S2	伊藤正樹	愛知	71期	98.33
S2	江守昇	千葉	73期	101.45
S2	中曽直彦	千葉	74期	89.79
S2	丸山啓一	静岡	74期	91.25
S2	伏見俊昭	福島	75期	109.32
S2	原田隆	大阪	77期	94.13
S2	北野武史	石川	78期	100.87
S2	開坂秀明	青森	79期	98.41
S2	佐々木則幸	高知	79期	103.43
S2	土屋裕二	静岡	81期	100.50
S2	大坪功一	福岡	81期	106.19
S2	藤田昌宏	岡山	82期	90.94
S2	山口貴弘	栃木	84期	99.13
S2	吉本哲郎	広島	84期	101.20
S2	岡田征陽	東京	85期	98.00
S2	佐藤雅彦	宮城	87期	96.94
S2	金成和幸	福島	88期	99.72
S2	石塚孝幸	神奈川	89期	99.12
S2	上田国広	三重	89期	92.88
S2	篠原龍馬	高知	89期	96.32
S2	早坂秀悟	茨城	90期	96.53
S2	志村太賀	山梨	90期	103.09
S2	古屋琢晶	山梨	90期	99.42
S2	伊原弘幸	福井	90期	97.55
S2	伊藤成紀	大阪	90期	99.91
S2	松岡貴久	熊本	90期	106.61
S2	石川雅望	群馬	91期	99.86
S2	藤田大輔	千葉	91期	98.28
S2	小堺浩二	石川	91期	94.30
S2	大西祐	愛媛	91期	99.93
S2	矢島一弥	群馬	92期	91.00
S2	蒔田英彦	千葉	93期	98.91
S2	三谷政史	奈良	93期	102.67
S2	愛敬博之	愛知	94期	96.19
S2	佐藤和也	青森	95期	104.56
S2	相川永伍	埼玉	95期	98.26
S2	白上翔	滋賀	95期	96.42
S2	杉本正隆	茨城	96期	104.38
S2	飯田憲司	静岡	96期	96.40
S2	柴田竜史	静岡	96期	87.78
S2	山形一気	徳島	96期	101.27
S2	近藤夏樹	千葉	97期	98.46
S2	松岡篤哉	岐阜	97期	101.33
S2	箱田優樹	青森	98期	102.77
S2	好永晃	佐賀	98期	95.61
S2	高橋幸司	山形	99期	91.26
S2	中田健太	埼玉	99期	105.50
S2	横関裕樹	岐阜	99期	99.92
S2	笠松将太	埼玉	100期	99.09
S2	金子幸央	栃木	101期	106.72
S2	月森亮輔	岡山	101期	99.26
S2	嶋津拓弥	神奈川	103期	105.12
S2	清水剛志	福井	103期	95.00
S2	會澤龍	宮城	105期	91.33
S2	渡邉豪大	静岡	107期	103.83
S2	原口昌平	福岡	107期	104.27
S2	酒井雄多	福島	109期	103.05
S2	小川丈太	徳島	111期	99.30
S2	藤井將	広島	113期	94.53
S2	小原丈一郎	青森	115期	103.04
S2	後藤悠	岩手	115期	92.72
S2	石井洋輝	福島	115期	99.48
S2	幸田望夢	栃木	115期	97.45
S2	鈴木薫	東京	115期	96.67
S2	谷和也	大阪	115期	94.26
S2	畫田宗一郎	岡山	115期	103.00
S2	阪本和也	長崎	115期	92.63
S2	佐々木眞也	神奈川	117期	98.64
S2	青柳靖起	佐賀	117期	100.15
S2	緒方将樹	熊本	117期	92.50
S2	犬伏湧也	徳島	119期	101.44